

## 新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン

(京都モンテッソーリ教師養成コース)

新型コロナウイルス感染症対策のため、

(1) 事前の準備 (2) 感染者及び濃厚接触者が発生した場合の対応について  
下記の項目に出来る限りご協力をお願いいたします。

### (1) 事前の準備

#### ① 会場および受講生の座席間の距離の確保

園ごとに、受講会場の大きさ、受講者数が異なりますが、感染拡大の防止策を講じていただいているものとして、そのうえでスクール型の座席配置の場合、椅子は出来るだけ広く間隔を確保してください。(目安1メートル)

演習型(□)の座席配置の場合、対面の椅子の間隔も出来るだけ確保して下さい。(目安2メートル)

#### ② 速乾性アルコール製剤の準備

受講会場入口や練習室、トイレ入口ごとに速乾性アルコール製剤を配置してください。

#### ③ 別室の確保

当日、授業開始前や授業中に本人からの申出により、発熱・咳等の症状のある受講生がいた場合の一時的に待機する別室を用意ください。

#### ④ 受講会場の机、椅子の消毒、ドアノブの消毒、電気のスイッチの消毒

授業開始前に消毒用アルコール(次亜塩素酸ナトリウム液(漂白剤)を希釈したものや界面活性剤でも可)を使用して、机・椅子・ドアノブ・電気スイッチ等の拭き取りをして下さい。

#### ⑤ トイレの使用

トイレは感染リスクが比較的高いとされていることから、混雑を避けた利用、及びトイレ内の十分な換気をお願いします。

#### ⑥ 昼食の場所の指定をお願いします。(受講会場と同じで良いです)

## (2) 感染者及び濃厚接触者が発生した場合の対応

### ① 連絡や報告、対応について

受講生や拠点園でお世話になった先生、コーススタッフ等の感染が判明した場合には、医療機関から本人に診断結果が伝えられるとともに、医療機関から保健所にも届け出されます。本人から感染が判明した旨の連絡があった場合、コース事務局までご連絡ください。また本人からもコース事務局に連絡をするように伝えてあります。\*なお、夜間・休日の場合は(08014886404)またはLINE ID : fukakusakodomonoie まで連絡をして下さい。

また、保健所から濃厚接触者と指定され、検査や自宅待機を支持された場合も同様に京都コース事務局まで連絡をお願いします。



### ② 保健所等の行政機関への協力

授業終了後に、新型コロナウイルスの感染が判明した受講生や拠点園でお世話になった先生、コーススタッフ等がいた場合には、濃厚接触者の特定など、保健所等の行政機関が行う必要な調査への協力をお願いします。